

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	49,854	1.5	2,156	153.9	1,475	—	997	—
28年3月期第3四半期	49,119	4.0	849	398.2	△231	—	△173	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 2,015百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △2,608百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	21.38	—
28年3月期第3四半期	△3.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	89,747	41,554	45.2
28年3月期	89,081	39,932	43.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 40,560百万円 28年3月期 38,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
29年3月期	—	3.75	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,500	1.4	2,400	48.0	1,300	327.8	850	—	18.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	49,209,846 株	28年3月期	49,209,846 株
29年3月期3Q	2,563,302 株	28年3月期	2,560,975 株
29年3月期3Q	46,647,825 株	28年3月期3Q	46,651,497 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の積極的な経済政策を背景に雇用・所得環境の改善が見られ緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国や資源国等の景気の下振れ、中東周辺各国での紛争、英国のEU離脱問題や米国のトランプ政権誕生等による予測困難な国際情勢に伴い国内経済への影響は先行き不透明な状況となりました。

住宅業界におきましては、マイナス金利導入による住宅ローンの金利低下や相続税の節税対策も相まって、新設住宅着工戸数は前年同期比で増加傾向にあり、当社グループの主力販売分野である持家や分譲戸建住宅は、前年同期比プラス基調となりました。

当社グループは、2014年以降を『第三の創業』とし、これまで培ってきたDNAを土台とし、ニュージーランドで育林するニュージーパインやその他国内外で調達する無垢材を主体とした新商品を武器として、国内においては新築戸建市場に加えてリフォーム、非住宅、DIYなどの新市場、海外においては、インドネシアにおいて現地合弁企業を設立しドアの販売を始めるなど、今後の劇的な環境変化にも対応し得る体制を構築し、独創的な市場を創造して、グローバルに成長していくことをめざしています。

当社グループは、環境共創企業として、これまで以上に、所有する山林資源を有効に活用した新商品の開発や業界をリードする省施工・簡単施工商品群を提案し、併せて更なる業務の効率化・コスト削減・資産の効率化等を図り、他社と差別化できる無垢商品群を武器に新しい顧客開拓にも注力しています。

また、主要都市に開設したショールームを活かし、無垢の木のキッチン「スイージー」を主体に、床材、内装建具などに加え「無垢の木の洗面台」「スイージーファニチャー」「無垢の木の収納」等の商品を組み合わせ、トータルコーディネートすることで、お客様が実際の生活空間をイメージしやすいルームを再現し、無垢商品等の品ぞろえを広げ、販売を強化しています。

なお、今夏完成予定の金沢営業所兼ショールームは、新たな木材需要創出を目的とした国の補助金制度を活用し、当社が生産するLVL(単板積層材)構造材と新素材CLT(直交集成材)を複合した特殊建築物としてオープンいたします(設計管理：株式会社 伊東豊雄建築設計事務所)。

これらの結果、連結売上高は、49,854百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益は2,156百万円(前年同期比153.9%増)、経常利益は1,475百万円(前年同期は経常損失231百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は997百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失173百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①住宅建材設備事業

住宅建材では、前年同期に比べ建具・床材・収納等の内装材の売上が増加しました。また、コスト削減と採算性の向上等の効果もあり、利益率が上昇しました。壁紙に代わり、意匠性が高く、個性豊かな住空間の提案が可能な「デザインウォール」の販売促進に努めました。また、省施工商品として施工時に設置する先行階段を活用することで、現場の作業性と安全性が飛躍的に向上する「セットオン階段」や階段手すり取付け現場のムダやムリをカットした「手すりジャストカットシステム」、インテリア性の高い上質な空間を提案する「デザイン階段」や室内ドア「ソフトアートシリーズEtype」、箱型収納・棚板・金物を自由に組み合わせオリジナル収納がつけれる「無垢の木の収納」等の様々な商品展開を行い、拡販に努めました。

住宅設備機器では、前年同期に比べ主に4つの樹種の無垢扉を選べる無垢の木のキッチン「スイージー」の売上が増加し、木のぬくもりを感じる「無垢の木の洗面台」、手で“触れたくなる”ような木の質感が漂う「スイージーファニチャー」など、無垢の木の強みを活かした商品とともに住宅の室内ドアや床材などの内装材とトータルコーディネート提案することで相乗効果を図っています。平成28年8月には黒の鉄と無垢の木の棚板を組み合わせたシンプルでスタイリッシュな新発想のキッチン「フレームキッチン」を新たに発売しました。

また、FSCの森林認証材であるLVL等の構造材を使用し、高い耐震性能を担保した大空間や次世代型高性能住宅を実現する新システム「ワンズキューボ」の普及や長期優良住宅等の各種認定申請支援業務を行うとともにLVLの特徴を活かした非住宅市場への拡販を進めています。平成28年10月には「高性能+デザイン+住まい方、愛着を育む本物の木の家を1500万円を実現」をデザインコンセプトとした「ワンズキューボ1500セレクション」が2016年度グッドデザイン賞を受賞しました。当社では今回の受賞を契機に無垢内装建材、無垢キッチン、JWOOD LVL構造材等の販売拡大を図るとともに、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に努めてまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における住宅建材設備事業は、売上高が48,960百万円(前年同期比1.5%増)、営業利益が1,974百万円(前年同期比196.8%増)となりました。

②発電事業

発電事業では、本社敷地内に木質バイオマス発電設備を導入し、電気事業者に売電を行っております。木質バイオマス発電の運営におきましては、森林から直接産出する「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料として稼働しています。この結果、当第3四半期連結累計期間の発電事業は、売上高が893百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益が181百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が666百万円増加、負債が956百万円減少、純資産が1,622百万円増加しました。内訳として、資産の増加は、主に現金及び預金が796百万円減少、棚卸資産が160百万円減少、投資その他の資産が184百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が772百万円増加、その他(流動資産)が543百万円増加、有形固定資産が698百万円増加したことによるものです。負債の減少は、主に電子記録債務が699百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1,104百万円減少、未払法人税等が336百万円減少、短期・長期借入金が133百万円減少したことによるものです。純資産の増加は、主に利益剰余金が647百万円増加、為替換算調整勘定が807百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年10月28日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示していますので参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,978	5,182
受取手形及び売掛金	8,606	9,379
商品及び製品	4,930	4,902
仕掛品	2,214	2,302
原材料及び貯蔵品	5,758	5,538
繰延税金資産	139	70
為替予約	302	216
その他	582	1,125
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	28,492	28,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,729	8,592
機械装置及び運搬具(純額)	7,158	6,945
土地	12,447	12,525
立木	16,283	17,260
その他(純額)	2,087	2,079
有形固定資産合計	46,705	47,404
無形固定資産	502	452
投資その他の資産	13,380	13,195
固定資産合計	60,589	61,052
資産合計	89,081	89,747
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,407	4,303
電子記録債務	975	1,675
短期借入金	21,207	9,940
1年内償還予定の社債	—	4,400
未払法人税等	601	265
引当金	227	11
為替予約	488	134
その他	2,467	2,876
流動負債合計	31,375	23,607
固定負債		
社債	4,700	300
長期借入金	9,336	20,469
繰延税金負債	2,202	2,295
引当金	352	374
退職給付に係る負債	847	857
その他	333	286
固定負債合計	17,773	24,585
負債合計	49,148	48,192

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	21,047	21,694
自己株式	△2,135	△2,135
株主資本合計	33,756	34,403
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	693	809
繰延ヘッジ損益	5	26
為替換算調整勘定	4,612	5,420
退職給付に係る調整累計額	△111	△99
その他の包括利益累計額合計	5,198	6,156
新株予約権	197	154
非支配株主持分	779	839
純資産合計	39,932	41,554
負債純資産合計	89,081	89,747

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	49,119	49,854
売上原価	35,352	34,467
売上総利益	13,767	15,386
販売費及び一般管理費	12,918	13,230
営業利益	849	2,156
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	56	58
受取賃貸料	93	86
為替差益	—	61
その他	88	99
営業外収益合計	248	317
営業外費用		
支払利息	418	379
売上割引	350	366
為替差損	369	—
電力デリバティブ評価損	37	2
持分法による投資損失	—	43
その他	153	207
営業外費用合計	1,329	998
経常利益又は経常損失(△)	△231	1,475
特別利益		
固定資産売却益	12	12
新株予約権戻入益	117	64
その他	378	2
特別利益合計	507	79
特別損失		
固定資産売却損	8	7
固定資産除却損	27	16
為替差損	393	—
その他	16	17
特別損失合計	445	41
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△169	1,513
法人税、住民税及び事業税	284	484
法人税等調整額	△142	31
法人税等合計	142	516
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△312	996
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△138	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△173	997

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△312	996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338	116
繰延ヘッジ損益	△215	23
為替換算調整勘定	△2,403	866
退職給付に係る調整額	△15	12
その他の包括利益合計	△2,296	1,018
四半期包括利益	△2,608	2,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,110	1,955
非支配株主に係る四半期包括利益	△498	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。